

寄居城北高校の生徒たちによる ミニコンサートと作品展!

庁舎1階ロビーで、寄居城北高校の生徒たちによるミニコンサート(1月25日)と作品展(1月21日~31日)が開かれました。

ミニコンサートは3部に分かれており、第1部は「郷土の音楽」を選択している生徒たちによる「秩父屋台囃子」、第2部はコーラス部による心に響く歌声が披露されました。第3部では吹奏楽部によるバラエティーに富んだ演奏が行われ、大勢の拍手のうちに幕を閉じました。



上郷北区の新年会で 炊き出し訓練実施!

1月13日、上郷北区では毎年恒例の区民新年会を公会堂で開催し、約60人の区民が参加しました。当日は、区の自主防災組織が町から貸与されている防災資機材のうち、かまどセットを活用した炊き出し訓練も行われました。1斗の大きな釜に、たくさんの野菜などを入れた豚汁が作られ、参加者に振る舞われました。

調理に当たった佐藤志津子さんは「おいしくできてとても喜ばれました。皆さんと協力して防災力と地域コミュニティのアップに頑張ります」と話してくれました。



防火・防災への誓い新たに! 寄居町消防団出初式

新春の風物詩となった寄居町消防団出初式が、1月5日にかわせみ荘グラウンドで行われました。

当日は寒風の厳しい中、消防団員が一堂に会し、きびきびとした動作で点検を行い、統制のとれた行進を披露しました。また、昨年5月から活動を始めた寄居町女性消防サポーターも参列しました。

式では逸見消防団長より「日ごろの防災・減災への充実を図ることが大切であり、災害時には地域の皆様と協力し、消火活動・避難誘導などに対応していかなければならない」とあいさつがあり、続いて島田町長からは「首都直下の大地震発生も危惧される中、自主防災組織、女性消防サポーターと連携し、地域に密着した活動に協力をお願いしたい」と訓示があり、改めて防火・防災への備えを誓いました。



鉄道建築協会賞受賞! JR八高線用土駅

JR八高線の用土駅が、一般社団法人鉄道建築協会主催の鉄道建築協会賞「第58回作品部門」で入賞しました。この賞は、鉄道建築のデザインおよび技術の向上に貢献したと認められる建築作品に対して贈られるもので、昭和31年から続いています。

平成24年10月に竣工した用土駅は、地域の交流スペースとしての機能と待合機能を併せ持つ用土コミュニティステーションと併設されており、このたびの入賞では「地域共生」が評価されました。寄居町の自然を生かした設計が特徴で、屋根の形状は桜の葉をモチーフとしています。



開催されました! 読書講演会



1月25日に、町立図書館で読書講演会が開催され、59人の方が集まりました。講師としてお迎えしたのは、史跡鉢形城跡保存整備委員会座長の梅沢太久夫さんです。

梅沢さんの著書「戦国の境目一秩父谷の城と武将一」に基づいて、鉢形領の形成や北条氏邦の鉢形城入城、さらには秩父地域の城郭の分布や特色などについて講演していただきました。

決定しました! 250基の災害時協力井戸

町では、昨年12月までに町内全域から申し出のあった井戸について現地調査等を行い、災害時協力井戸として250基を登録決定しました。

地震等の大規模災害の発生による長期間の断水が起こると、町民の日常生活に大きな支障を及ぼす事態が想定されます。災害時協力井戸とは、こうしたときに飲料水以外(洗濯や掃除、トイレなど)で使用する生活用水を、地域の方などに無償で提供していただける井戸のことです。

登録した井戸の情報は地域の自主防災組織と共有しており、災害時には円滑に利用できるようにしています。また、井戸の所有者に対しては、井戸の所在を地域住民へ知らせるため、玄関先等の見やすい位置に表示するプレートを配布しました。

災害時協力井戸の登録は随時受け付けていますので、皆さんのご協力をお願いします。



地区	登録井戸数
市街地	29
西部	31
桜沢	26
折原	26
鉢形	31
男衾	66
用土	41
合計	250